

No.139
2020
Winter

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication

特集 八戸工業大学第三高等学校 美術コース誌上卒業制作展



CONTENTS

八戸工業大学

- p2-3 学長メッセージ/学生による地域文化プロジェクト/自動車整備コンテスト上位独占/県内女子学生初!技能検定合格/APフォーラム2019/日本音響学会奨励賞受賞/海洋環境学習会/あおもり産学官金連携 Day2019/産学官金ラウンドテーブル in 台湾
- p4-5 青森県留学生交流/アイスホッケー部インカレ出場/2020年度新役員/彩才祭開催/サークル紹介/石山武研究室紹介/システム情報工学科公開講座/生命環境科学科ラボリポートから
- p6-7 OBメッセージ/映像研受賞 COC+コンテスト/図書館通信/アジア原子力研修生帰国/安全祈願祭/第2回 SD 研修会/春のオープンキャンパス/文科省高等教育無償化/2020年度入試日程/2月~4月主な日程

八戸工業大学第二高等学校

- p8-9 **特集 美術コース誌上卒業制作展**
- p10-11 知事とのフレッシュトーク/キャリアサポート/

高校生議会のためのワークショップ/K-O運動 陸前高田市訪問/年末餅つきボランティア/進路中間報告/情報ビジネスコース活動/白神山トレッキング/青森県高校総合文化祭

八戸工業大学第一高等学校

- p12-13 第50回工大一祭/1学年宿泊研修/2学年修学旅行/3学年研修会/青森県高校総合文化祭/進路中間報告/心の教室/第48回定期演奏会/クリーン白銀

さくら幼稚園

- p14-15 クリスマスはっぴょうかい/かたぐるま/ようちえんってこんなところ/とらんぼりん

八戸工業大学第二高等学校附属中学校

- p16 TEPIA ロボットグランプリ受賞/久慈地区ジオパーク巡見/附属中スポーツ大会

- p16 理事会・評議員会/ブランディング寄付事業

Mobile & iPhone & Android
モバイルサイトへアクセス▶▶▶



新年を迎えて

～令和の時代に生きる～

学長 長谷川 明

新年、あけましておめでとうございます。

本年も皆様が健康で幸せであることを願っています。

令和になって初めて迎える新年です。本学は昭和47年(1972年)に開設以来、創設期の昭和、大学院や感性デザイン学部が開設された充実期の平成、そしていま新しい令和の時代を迎えています。令和4年(2022年)には50周年を迎えます。「良き技術は、良き人格から生まれる」を教育理念として、優れた技術と優れた人格を有する18,000名を超える卒業生が、社会で活躍しています。

いま、世界には、平和、環境、エネルギーなど多くの課題があり、当地域でも人口減少が大きな課題となっています。若者の首都圏への人口流動が大きな背景となり、首都圏は世界でもまれに見る人口集中地帯となっている一方、北東北地域は少子化高齢化が進み、激しい人口減少は暮らしや産業の大きな障害となっています。令和の時代、本学はこの課題に取り組むことを使命と受け止め、行政機関や地域の産業界と連携し引き続き取り組んでいく所存です。

新しい時代を迎え、本学工学部や感性デザイン学部も変わろうとしています。工学部では、AIなどの情報技術に代表されるように、医学、農学、海洋学などの他分野と連携して、新しい成果を生み出そうとしています。感性デザイン学部では、美しさと機能を求めるデザインだけでなく、地域づくりやまちをデザインする、しゅみをデザインすることへ広がってきています。

「地域の人材は地域から、地域の課題は地域で」をモットーに、令和の時代も、八戸工業大学は発展していきます。今年も、よろしく願っています。



学生による地域文化プロジェクト開催

11月23日～12月8日、創生デザイン学科の学生を中心に、青森県階上町とその周辺を会場に「つくるはしかみー世代間交流による地域文化プロジェクト」が開催された。これは、学生による自主事業として、「八戸市学生まちづくり助成金」を活用したものである。



階上町は本学に隣接し、市内の大学に通う多くの学生が住む下宿やアパートがあり、県内外の出身の学生たちの生活の場でもある。生まれ育った地域が異なると、価値観も少しずつ違い、それぞれにその土地・その風景・そこに住む人々の見え方が違って来る。まちづくりに携わる人たちや地域に住む方々にも同じことが言える。

このプロジェクトは、学生が地域の方々と交流しその土地にある営みや文化に触れ、価値を見出し、多様な未来への提案をストーリー性のある作品に表現するというクリエイティブな活動を行うもので、各会場でデザインやアートの展示、ワークショップが行われた。



【実施会場】階上町：道の駅はしかみ、わっせ交流センター、ふるさと河川公園、はしかみハマの駅あるでい～ば、旧海産物養殖場

八戸市：南部会館、内丸地区“アキヤブ”

【協力】階上町 / 一般財団法人はしかみふるさとラボ / 特定非営利活動法人はしかみ岳より未来へ / 株式会社北日本サービス / WATARASE Art Project

快挙！自動車整備コンテスト上位独占入賞

10月19日、宮城県仙台市にて(公社)自動車技術会東北支部学自研主催「第34回学自研自動車整備コンテスト」が行われ、本学機械工学科自動車工学コース4年生3チーム計6名(左から本田翔馬さん(北海道・苫小牧工高)、佐藤朋輝さん(宮城・佐沼高)、蛭名雄真さん(八戸北高)、佐野史知さん(五戸高)、濱浦匠さん(星槎国際高)、橋本祥苑さん(八戸工大一高))が、3年ぶり3度目となる「1～3位の独占入賞」を果たした。



同コンテストは、4大学から17チーム34名の参加学生の日頃の学習成果発表の場として行われており、自動車整備士登録試験同等の学力試験、自動車整備故障診断技術や、自動車に使用されている液体の判別技術等の実技試験の合計点数によって競うものである。

学生達は、放課後や授業の空き時間を利用し、コンテスト上位入賞を目指し対策に取り組んだ。また、2人1チームで競い合うため、チームワークも勝敗を分けるカギとなる。チームワーク力は、社会人基礎力においても重視されており、学生自らがチーム編成を考えコンテストに挑むことで、チームワーク力や課題発見解決力を向上させ、この快挙を成し遂げることが出来たと考える。社会人となってからの彼らの活躍にも期待したい。

機械工学科准教授 浅川 拓克

県内初、女子学生フライス盤2級技能士誕生！

10月、技能検定機械加工(フライス盤2級)に田代祐葵奈さん(機械工学科3年/八戸工高：写真右)がみごと合格、県内初の女子学生(高校生含む)フライス盤2級技能士が誕生した。



また、石羽澤遼平さん(機械工学科3年/岩手・久慈工高：写真左)が普通旋盤2級に合格、本学では平成27年度以降4人目となる。

田代さんは、1・2年生と「若年者ものづくり競技大会」旋盤全国大会にも県代表として出場しており、12月には「令和元年度 高校生ものづくりコンテスト全国大会『旋盤作業部門』青森県予選会」の審査委員も務めた。

今回の合格について田代さんは、「ただ手順をこなすだけではなく、問題が起きた時の対処法も考えられるようになった。この経験をこれからの作業や加工に応用させたい。」と語った。

石羽澤さんは「初めは上手く加工精度が出ず苦労したが、何度も練習し、試験本番では練習成果を十分に発揮することができた。練習中多くの課題を発見し克服することで問題解決能力が養われたと思う。」と語った。

八戸工業大学 APフォーラム2019 開催

本学は2014年度に文部科学省の大学教育再生加速プログラム（AP）「高大接続改革推進事業」に採択され、6年間にわたりテーマⅡ「学修成果の可視化」に取り組んできた。

11月8日、ユートリー（（一財）VISIT はちのへ）を会場に最終報告を兼ねた AP フォーラムを開催した。

近年、高等教育機関には様々な教育改革が求められており、特に学修成果の可視化に基づく教育の内部質保証の実現が望まれている。本フォーラムでは、AP 事業として取り組んだ教育改革について総括するとともに、高大接続から社会接続を踏まえた、主体的学修を促す教育について考える機会とした。

第一部では、AP 事業の活動報告としてテーマⅤ「卒業時における質保証の取組の強化」採択校の東京都市大学と、本学の取組について講演が行われた。第二部のパネルディス

カッションでは、地域の教育機関で取り組まれている自主的な学修活動を育むためのグッドプラクティスとして、八戸高等学校、八戸工業高等専門学校、八戸学院大学、本学から事例紹介が行われ、高大接続の視点も踏まえて学生の学びのサイクルを推進し継続学修力を養うための仕掛けや手法等について意見交換した。

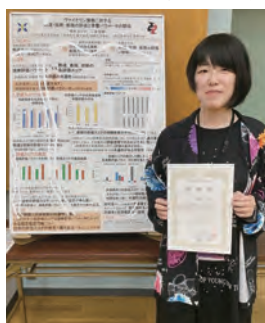
本学では AP 事業の終了後も地域に根差した高等教育機関として、地域社会に求められる人材の育成とそれに向けた教育改善に鋭意取り組んでいく。

学務部次長 阿波 稔



大学院生桶本さん受賞 活躍に期待

10月、本学大学院修士2年桶本まどかさん（工学研究科電子電気・情報工学専攻）が、日本音響学会音楽音響研究会より奨励賞を受賞した。日本音響学会の2019年春季研究発表会で発表した「リタルダンドにおける時間遅延量の形状とその印象の関係」でも、学生優秀発表賞を受賞。また、9月にはドイツのアーヘンで開催された、23rd International Congress on Acoustics (ICA 2019) で、“Reconsidering the method of evaluation for tempo estimation” を発表し、ICA-ASA-DEGA Young Scientist Conference Attendance Grant を受賞した。桶本さんは2018年にオーストラリアで開催の国際会議でも、教育音楽知覚認知学会国際会議賞を受賞するなど、音響研究分野では今後目の離せない研究者の一人となりそうだ。



海洋環境学習会開催



10月22日、八戸市水産科学館マリエント及び蕪島海浜公園海水浴場にて、小学6年生を対象とした環境学習教室を開催した。未来を担う子供たちにマイクロプラスチック問題を通して環境問題に関する興味とリテラシー向上を図り未来の科学者の育成に貢献することを目的とし、講義やマイクロプラスチック回収調査体験を行った。

本学学生によるわかりやすい環境講義や、JAMSTEC 島村道代研究員による講義が行われた。

終盤の感想発表では「マイクロプラスチックが生物に影響を与えることを初めて知った」、「これからはごみ拾いや分別をしていきたい」などのコメントがあり、アンケート結果でも概ね好評であった。本活動の継続は環境活動の周知・浸透につながり、海洋環境改善に大きく貢献できると期待する。

土木建築工学科准教授 橋詰 豊

あおり産学官金連携 Day 2019

「あおり産学官金連携 Day 2019」が10月30日、八戸プラザホテルで開催され、本学は青森大学との共同による Web アプリケーション「わたなべ教授のサギ抵抗力しんだ〜ん」を出品した。

このアプリは、科学技術振興機構社会技術研究開発センターの研究事業に採択された「高齢者の詐欺被害を防ぐしなやかな地域連携モデルの研究開発」プロジェクト（代表者・秋田県立大学教授渡部諭氏）の成果品である。質問に回答すると機械学習の手法等により心理特性が推定され、自分の詐欺に対する抵抗力を知ることができる。本学システム情報工学科教授小久保温氏がアプリの試作と設計、青森大学はアプリを活用した地域連携活動を担当している。



= 学長訪問記 = 台湾にて、産学官金ラウンドテーブル出席

例年、青森市で開催されている産学官金ラウンドテーブルが、2019年12月12日、台湾の台北市で開催された。この会議は、青森県工業会などの「産」、弘前大学と八戸工業大学の「学」、青森県の「官」、および地方銀行などの「金」さらに研究支援機関が集まり、変革する時代にふさわしい地域の活動について意見交換し、提言等を行う会議である。

今回は、知事（議長：写真）をはじめとする会員が台湾を訪問し、「青森県と台湾の交流促進」をテーマに、台湾関係者との意見交換や交流を行った。台湾側から、青森県との交流を歓迎すること、その背景に「台湾人は歴史から国際交流の大切さを知っている」ことがあるとの挨拶があった。本学からは、現在行われている研究ブランディング事業を通して、人口減少とインフラ老朽化の課題を乗り越えるための研究活

動について紹介した。

翌日、高雄市にある国立高雄科技大学や金属工業研究発展センターを訪問。国立高雄科技大学では楊学長と相互の研究活動を紹介しあい、今後の交流について意見交換をした。

この時期の八戸と台湾の気温差は20度程あり、服装に戸惑った。それにしても、直行便がほぼ満席だったこと、ホテルや空港でも東北地方の数校の高校の修学旅行生と一緒にいることを考えると、この気温差が台湾との交流にうまく活用されているなど、感じた。



青森県留学生交流会 in 南部町

11月9日・10日、本学に留学しているコウ・エンカさん（社会基盤工学専攻1年：写真左）と、リ・シンセイさん（生命環境科学科2年：写真右）が第26回青森県留学生交流推進協議会ジャンボリーに参加した。これは、県内で学ぶ留学生と日本人学生が交流の輪を広げ、留学生に本県の文化を知ってもらい帰国後も県との懸け橋になってもらおうと、開催されたものである。

この時期、南部町はりんご収穫の最盛期でもあり、参加した60名ほどの留学生はりんごの収穫を体験、リさんも自ら収穫したりんごを美味しくようにほおぼっていた。留学生は4～6名に分かれ各農家に宿泊。コウさんは宿泊先で和服を着させてもらうサプライズを体験、思い出に残る交流会となった。



アイススケート部(ホッケー部門)インカレ出場

12月25日～29日、北海道釧路市で日本学生氷上競技選手権大会インカレセカンドディビジョンに出場した。決勝進出を果たしたものの、関東の強豪チームである神奈川大学に0対7で敗れ準優勝となった。来シーズンは、インカレファーストディビジョン出場を目指し、一層のチーム強化に励みたい。

監督 本間 貴士



2020年度新役員決定

2020年度新役員（学友会・体育会・文化会）が選出され、11月13日長谷川明学長を表敬訪問し、就任に際しての抱負を語った。



学友会委員長 松本佳偉斗

（システム情報工学科2年／八戸西高）前列中央

体育会会長 金入慎太郎

（システム情報工学科2年／八戸工大二高）中央列左から2人目

文化会会長 花部 永遠

（システム情報工学科2年／むつ工高）中央列右から2人目

彩才祭開催

今年も仲間の協力を得て、11月9日・10日、ショッピングセンターラピアにて文化会主催「彩才祭」を開催することができた。来場した多くの方から、「子ども達も楽しめる展示内容で、良かった。」「とても楽しかった。」と感想を頂いた。来場者は二日間延べ約450名を数え、老若男女、家族連れなど多くの方々と賑わった。例年、彩才祭の広報はコンビニやスーパーなどにポスターを配布・掲示しているが、来年度は本学のホームページやSNSなどを利用して更なる広報を行いたいと考えている。加えて、彩才祭の展示内容やレイアウトの仕方も改善し、地域の方が気軽に興味を持って来場していただけるよう工夫していきたい。



2019年度文化会会長 田口 翔太

サークル紹介

動力研究部

動力研究部は現在部員13名在籍し、自作したエコラン車両で「1リッターのガソリンで何km走行できるか？」を競う「Honda エコマイレージチャレンジ全国大会」へ毎年出場している。2016年度に過去最高走行距離418.208km/ℓという記録を残すことができたが、記録更新のため、車両の軽量化やエンジン改良を日々行っている。



2019年度は本学学生チャレンジプロジェクトに採択され、秋田県で開催されるワールドエコノムーブに参戦するため、新たに電気自動車の製作に取り組んでいる。初めての試みで戸惑うことや、うまくいかないことが多いがエンジンエコランで培った知識を生かし、先生方の協力を得ながらマシン製作を進め、部員のアイデアがたくさん詰まったより良い車両を完成させたいと思う。

「動力研究部公式 Twitter」で日々の活動を発信中。ぜひ、ご覧いただきたい。

部長 石羽澤遼平（機械工学科3年／岩手・久慈工高）

ファッション研究会

大都市に比べてやや流行が遅いと感じる北東北でも、ファッションに敏感な学生や若者はたくさんおり、そういう人が楽しめる場所をつくりたいという思いから、ファッション研究会を立ち上げた。

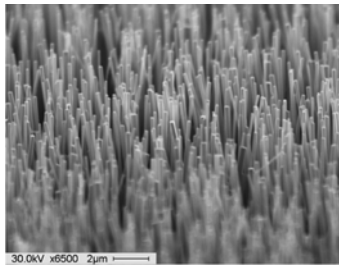
今年度、当研究会では、地域と服飾の関係性をテーマに、アパレル業界で働く方達のお話を伺うため、八戸市内や青森県内のいくつかの店舗を訪問した。実際に働く方達にインタビューをすると、地元から最先端の文化を発信しようとそれぞれが情報交換をしていることがわかり、将来に向けての働き方や大学卒業後のキャリアについても意見をいただいた。今後は、企業研究の一環として、情報をまとめたフリーペーパーの制作を目標に活動していきたいと考えている。



部長 木田 真琴（創生デザイン学科3年／弘前工高）

～半導体のナノ化に取り組む～ 電気電子工学科 石山武研究室

当研究室では、主に半導体材料の特性向上のための研究に取り組んでいます。半導体は、シリコンに代表されるように、従来から電子デバイス材料として用いられていますが、現在では特に、光電気変換材料としての役割が大きくなっています。例えば、電気を光に変えるLED照明や、光を電気に変える太陽光パネルの中身には、半導体が使われています。従って、光と電気の変換効率が高い半導体材料を創り出すことは、更なる省エネルギーを実現します。また、より少ない材料で、高性能な光電気変換素子を製造することが可能になりますから、省資源化にも貢献することができます。そのために、半導体に他の材料を加えて、その電気特性、光学特性を改善させる研究を行っています。さらに、半導体をナノ構造にすることにより、全く新しい特性を備えたナノデバイス材料を生み出し、新たな分野への応用を目指しています。



半導体のナノワイヤ構造

電気電子工学科教授 石山 武

～システム情報工学科公開講座より～ スクラッチでプログラミング体験

10月26日、「新しくなったスクラッチでプログラミング体験～ダンボールで楽器を作ろう！AR（拡張現実）を体験しよう！～」（講師：システム情報工学科小久保温教授）が開催された。昨年に続き、人気の講座である。一日を通した長い講座であったが、学生が開発した初心者に優しいプログラミング教材を使い、参加した小学生から60代の方まで、プログラミングの体験を楽しんだ。

前半はスクラッチ（バージョン3）を用いて、プログラミングの初歩を学び、後半はパソコンのカメラの前で剣を振るってモンスターを倒すゲーム、楽器を描いた厚紙にアルミテープを貼ったものや果物や野菜にMakey Makeyという機器を介し、パソコンに接続して楽器を作り演奏した。



生命環境科学科ラボレポート、掲載中

2019年10月からデーリー東北新聞紙面にて、「ラボレポート」生命環境科学科の研究紹介がスタートした。

地域産業や自然、風土・地域性など北東北ならではの環境に着目しつつ、持続可能な社会の構築に向け人と自然と産業の共存を目指し、日々研究に取り組んでいる。以下、個性あ

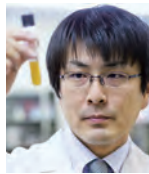
ふれる教員の研究の一端を紹介する。



※タイトルは、デーリー東北新聞掲載のラボレポートより、引用。詳しい内容は、大学HP（#NEWS）またはQRコードから閲覧可能。

①「未知の乳酸菌ハンター」

本田 洋之 講師：発酵食品学研究室
プロバイオテック（植物性）乳酸菌の物質生産や代謝を研究。自称：乳酸菌ハンターは、発酵漬物に注目。北東北の様々な漬物に存在する生きた乳酸菌（微生物）を発見し、その性質を調べ社会に役立てたいと奮闘中。



③「無骨な工場もエコに苦心」

小林 正樹 教授：化学プロセス研究室
例えば、エタノールを作ろうとした場合、工場で薬品から作るか穀物を原料にバイオで製造するかを効率や安全性などの面から検討する、といった環境負荷の少ない効率的な化学プロセスの構築を目的とし、その最適な操作・設計条件を研究している。



②「自然かく乱が生む植生」

鮎川 恵理 准教授：植物生態学研究室
海岸に生育する植物は、高波、高潮など海洋からのストレスにさらされながら生育している。東日本大震災では、津波が海岸植生へ大きな影響を与えたが、長期間の継続調査により、冬期の高波も同等の影響を与えていることも明らかになってきている。



④「凍る土と暮らす菌たち」

星野 保 教授：菌類生理生態学研究室
寒冷地に生きる菌類を研究対象にしている。特に雪腐病菌（イシカリガマノホタケ）を追い続け北上し、2019年当地に着任した。極地調査の経験もある。現在は、南部味噌玉に特徴的な菌がないか興味がある。



OBからのメッセージ ～つながりは学生時代に～

システム情報工学科 OB の蜂屋です。ウェブデザイナーや写真館勤務などを経て、2013年からフリーランスのフォトグラファーとして青森県内を中心に活動しています。

在学中に2つのサークルに所属していました。そのひとつは美術研究部です。そこでフィルムカメラと出会い写真の魅力に惹きつけられました。それと同時期のもうひとつのサークルでは、中心商店街の方々と街のイベントを開催するメンバーとして活動する機会が



ありました。

卒業後、何度か転職しましたが、いずれも写真に関



係のある仕事につきました。現在はフリーランスのカメラマンとして7年目になり、サッカー雑誌「AOMORI GOAL」に「蜂の眼」の連載や様々な媒体で写真や映像を撮影しています。

学生時代サークル活動を通して今でもお世話になっている街の方々と出会えたことは、私の宝物です。皆さんも在学中に何かしら発見や出会いがあると思います。どうぞそれを大切にしてください。

蜂屋 雄士（宮城県仙台市出身）

学生のアイデアを地域活性化に！

映像研究部、審査員特別賞受賞

「COC+イノベーション・ベンチャーアイデアコンテスト2019～地域を元気にする学生の提案～」が、2020年1月11日グランドサンピア八戸を会場に開催された。本学から映像研究部特撮班「HITマン Update Project」が参加し、審査員特別賞を受賞した。

映像研は以前より地元のメディアと連携した映像作品を制作し、地域発信を行っており、オリジナルキャラクター（写真左）を使った地域おこしにも取り組み、朝市や歩行者天国、街のイベントにも参加している。また、近隣

町村のヒーローキャラクターと連携した活動や全国大会にも参加するなど交流の輪を広げており、今後の活躍が期待される。



図書館通信

図書館では通常の図書サービスに加え、学生がレポート作成や研究活動のための文献調査に利用できるようインターネット環境や視聴覚資料の整備、資格取得に関する書籍を揃えている。

八戸ブックセンターから依頼のあった企画として、「ひと棚」コーナーで紹介



介された四竈樹男教授（機械工学科）お薦めの書籍や【アカデミックトーク】「あなたの知らない菌の世界」で星野保教授（生命環境科学科）が紹介した書籍など、ポップを付けて展示している。

学園祭では、普段は目にする事ができない蔵書や学生から購入希望のあった図書などを展示。読書週間に伴う八戸学院図書館の合同企画「読書週間図書交換展示」では、双方の図書館蔵書に少ない分野の図書を展示、館内で閲覧・貸し出した。

※開館日程：平日（8時40分～20時30分）
休日・土曜日（10時～17時）

※本図書館は、地域にも広く開放しています。利用方法や開館日程詳細は、八戸工業大学図書館ホームページでご確認ください。

アジア原子力研修生との交流



インドネシア原子力庁のKUSWANDRATA Resa Adi（レサ）さんと、AUFANNI Nariratri Nur（ファニ）さんが、11月末まで約2ヶ月半にわたり本学で研修をした。

ふたりは四竈樹男教授が担当講義する「原子力エネルギー」で、1年生の受講者にインドネシアの原子力について英語で紹介したり、石山俊彦教授の指導で放射線検出器の製作を行った（写真）。また、滞在中は、佐藤学教授と大間町や東通村の原子力発電所の見学や六ヶ所村の原子燃料サイクル施設の見学に行った。東通村を訪れた日はちょうど初雪の日で、インドネシアにはない降る雪や積る雪を楽しんでいた。

日本語も少し話せるレサさんとファニさんは、研究室では日本語と英語でお喋りをし、学生等と互いに日本語と英語を教え合う機会となった。

安全祈願祭（鞆祭り）

11月8日、本学・法人・各高等学校・中学校から関係者の参列の下、工作技術センターにて安全祈願祭（鞆祭り）を執り行った。

八戸三嶋神社より神主においで頂き、工作技術センターを利用する総ての学生、教職員等の安全と健康を祈願した。



～第2回SD研修会～ 救急法(AED)講習会開催

12月5日、本学多目的ホールにて、教職員を対象に救急法(AED)講習会が開催された。AED(自動体外式除細動器)とは、心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器であり、本学には3台設置されている。



講習会では、講師の八戸東消防署救急隊員(4名)より、基礎的な救急法の概要や迅速に119番通報をすることの重要性等について説明があり、引き続き、心肺蘇生法として胸骨圧迫、人工呼吸及びAEDの取扱いについてグループに分か



れて訓練を実施した。講師からは、いざという場面で落ち着いて行動ができるよう繰り返し訓練することの必要性が説かれ、参加した教職員は熱心に耳を傾け、訓練にも真剣な表情で取り組んでいた。

高等教育の修学支援新制度、4月開始へ

大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の学生を対象とした高等教育の修学支援新制度が令和2年4月から開始される。消費税率引き上げによる財源を活用し、少子化に対処するための施策として開始する本制度は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、大学であれば入学から卒業までの4年間、授業料等の減免や給付型奨学金の支給が受けられる。本学でも、在学生対象の給付型奨学金の手続きを開始し、4月の新入学生対応を含め、準備を進めている。制度概要については、文部科学省HPをご覧ください。

※文部科学省HP「高等教育の修学支援新制度」参照
(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

支援内容等

- ①支援対象となる学生
 - ・住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生
- ②授業料等減免
 - ・各大学等が、政府が決定した授業料等の減免を実施。減免に要する費用を公費から支出
- ③給付型奨学金
 - ・日本学生支援機構が各学生に支給
 - ・学生が学業に専念するため、学生生活を送るのに必要な学生生活費を賄えるよう措置

春のオープンキャンパス開催!

日時: 2020年3月15日(日) 10:00~14:30
プログラム: 学科体験実習、キャンパスツアー、下宿見学ツアー、学科紹介ブース、学生生活紹介、保護者向けガイダンス、学食体験、各種相談コーナー ほか

学生が主体となり、いろいろなイベントを用意しています。学科体験実習メニューでは、学科の魅力を思いっきり体験できます!保護者の皆さま向けのガイダンスも開催致します。多彩なプログラムを用意して、みなさんをお待ちしています。お気軽に来場ください。

- ◆各地から無料送迎バスを運行します。
- ◆事前予約をしていただくと入場がスムーズです。



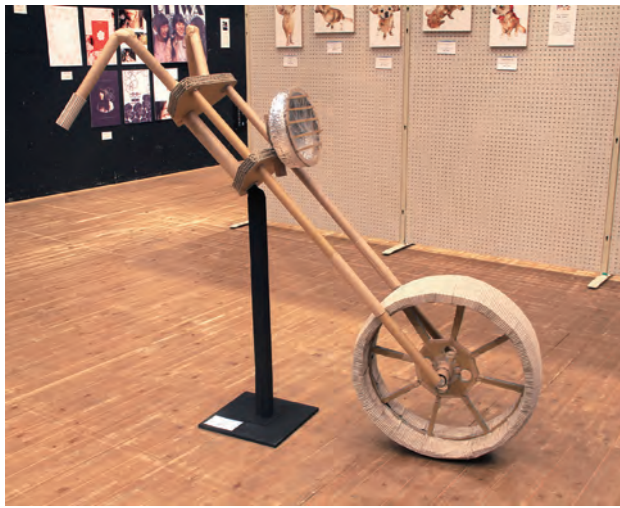
詳細は、本学ホームページにてご案内いたします。
お問い合わせ: 0120-850-276 (入試課フリーダイヤル)

2020年度入学試験日程

入試区分	クール	エントリーカード受付期間(必着)	面談日
AO 入学試験	第3クール	1月27日(月)~1月31日(金)	2月10日(月)
	第4クール	3月1日(日)~3月6日(金)	3月12日(木)
入試区分		願書受付期間(必着)	試験日
一般入学試験	後期	2月17日(月)~2月28日(金)	3月6日(金)
大学入試センター 試験利用入学試験	中期	2月1日(土)~2月14日(金)	2020年 1月18日(土)・ 1月19日(日)の 大学入試センター試験
	後期	3月1日(日)~3月19日(木)	

2月~4月主な日程

2月	6日~13日	学部後期補習・再試験
	10日	AO入試第3クール
	28日	卒業判定教授会
3月	6日	学部入試一般後期
	12日	AO入試第4クール
	15日	春のオープンキャンパス
4月	19日	学位記授与式
	3日	令和2年度入学式
	6日・7日	ガイダンス
	7日	開講試験(1年生)
	8日	授業開始



「オレのハーレー」 段ボール 蓮見 俊彰 (八戸第三中)



「chic(左)、POP(右)」 アクリル/B1 小笠原 愛 (福地中)



特集 八戸工大二高 美術コース 誌上卒業制作展



「信号機」 アクリル/B1
濱谷 春月 (道仏中)



「ひたる」 油彩/F50 佐藤 亜衣子 (湊中)



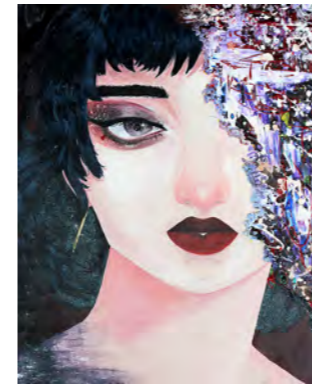
「令和ポスター (菫・桜・梅)」 CG B1/A3 大山 怜菜 (下長中)



「青森工芸品PRポスター」
アクリル/B1 高橋 葵 (鮫中)



「再会」 油彩/F50
小田桐 梨乃 (三条中)



「中国人(左)、ロシア人(中央)、アフリカ人(右)」 アクリル/F30 工藤 美愛 ケンドラ (福地中)



「I wanna kiss you all」
トルソー 苫米地 美羽 (下田中)



「クモの形」 発泡スチロール 川田 風我 (四和中)



「うさぎ系女子」 アクリル/B1
今井 彩尋 (白山台中)



「Harley-Davidson Fredy.ee」 アクリル・板 小沢 聖 (是川中)



「核」 ペン画/91x45.5 根森 千夏 (白山台中)



「南部姫毬イメージポスター」
アクリル/A1 大槻 麻衣 (小中野中)

「Art Historys」 水彩/B1
工藤 果歩 (白山台中)



「城」 アクリル/B1 藤縄 大樹 (長者中)



「平和と花・平和な兵器・平和な世界」
アクリル・プラスチック 黒坂 悠人 (下長中)



「退廃」 アクリル/B1 坂田 智哉 (三本木中)



「Whereabouts」 油彩/F60 根森 千夏 (白山台中)

青森県知事とのフレッシュトーク開催



12月18日、2年生と附属中学生とが参加し、「青森県知事とのフレッシュトーク」が開催された。この企画は青森県企画政策部広報聴課が主催するもので、選抜された高校を三村申吾青森県知事が訪問して、高校生等と直接対話するものである。

本校では初の開催となった今回、学校紹介として科学愛好会によるマイクロプラスチックに関する研究発表を披露した後、生徒から青森県の教育や育児支援、観光振興などについて提案や質問が出された。三村知事はそれらに対して1つずつユーモアを交えながら丁寧に回答した。生徒たちは知事の話術に引き込まれ、熱心に聴き入っていた。

代表して質問した深貝俊介さん（カレッジコース2年／福地中）は、「県の具体的な政策について、その目的や必要性まで詳しく理解することができた。将来は地域社会に貢献できるようになりたい。」と話していた。

自分らしい自分とは…

～大学生とカタル！
キャリアサポートプログラム～

11月16日、1年生全コースを対象にキャリアサポートプログラムを実施した。このプログラムは高校生が現役の大学生と交流することで、進路選択のきっかけとしようというものである。当日は約200名の生徒に対して50名以上の大学生が来校し、自らの体験を踏まえながら高校生を勇気付ける様々なメッセージを送った。参加した生徒達は、楽しみながら自分自身を見つめ直すことができたと話していた。



青森の課題ってなんだろう？

～ 高校生議会参加のためのワークショップ開催 ～

11月20日、1年生を対象に高校生議会参加のためのワークショップを開催した。今年度、本校が青森県主催の高校生模擬議会に参加することが決定し、それに伴って行われたものである。講師に明治大学藤井剛特任教授を招き、人口や農林水産業、健康など6つのテーマについ

てグループに分かれ、ブレインストーミングやKJ法を使って県の課題や活性化策について話し合った。参加した生徒たちは「データや統計を見て、新しい発見をすることができた」「他人の意見を聞いて自分の考えを深めることができた」などと述べていた。



K-O運動 陸前高田市訪問

10月27日、今年で8年目となる陸前高田市への訪問を行った。有志20名で構成された一行は、奇跡の一本松や東日本大震災津波伝承館の見学を経て、住民の方とのひとときを共にした。ミニ絵画の寄贈や即興似顔絵、八戸せんべい汁のおふるまいなど、笑顔溢れる語らいの時を過ごした。終始なごやかな雰囲気、楽しみながらの慰問ボランティアとなった。



道の駅餅つきボランティア

12月28日、「道の駅はしかみ」主催の年末感謝祭において、情報ビジネスコース2年生が餅つきボランティアとして参加した。高齢化が進み、力仕事の担い手が少なくなった地域に貢献することを目的に始まったこの行事は、今年度で4回目を迎えた。近年では少なくなりつつある、杵での餅つきを行っていることから、地域の方々に喜んでいただけたと考え、毎年行っている。屈強な男子生徒が代わる代わる餅をつき、かけ声をかけながら地元の方がリズムミカルに餅を返す様子は、微笑ましくもある。地域の方と一体になっての作業は、生徒にもよい体験であった。



東京学芸大学、慶應義塾大学などに合格！

令和2年度推薦・AO入試の結果が出そろった。12月16日現在、国立大学に11名、私立大学に80名が合格を果たしている。就職では26名の内定が決定しており、特に公務員の合格が目立つ結果となった。一般入試の結果は3月以降に確定する。

【国立大学 11名合格】

北海道教育大学2名、釧路公立大学2名、公立はこだて未来大学、青森公立大学、青森県立保健大学2名、秋田公立美術大学、福島大学、東京学芸大学

【私立大学 80名合格】

札幌大谷大学2名、札幌学院大学、札幌国際大学、北翔大学、青森中央学院大学、八戸学院大学4名、八戸工業大学9名、岩手医科大学2名、仙台大学、東北学院大学3名、東北工業大学、東北福祉大学、東北文化学園大学5名、宮城学院女子大学、秋田看護福祉大学、日本赤十字秋田看護大学2名、東北芸術工科大学6名、東北生活文化大学、尚美学園大学、駿河台大学、獨協大学、日本医療科学大学、聖徳大学、亜細亜大学、駒澤大学、関東学院大学、慶應義塾大学、工学院大学、順天堂大学、女子美術大学、専修大学、多摩美術大学2名、津田塾大学、帝京大学2名、帝京平成大学2名、東京工科大学、東京造形大学3名、東京農業大学2名、東京未来大学、東洋大学、日本大学2名、文化学園大学、法政大学、武蔵野

美術大学、明星大学、新潟医療福祉大学2名、同志社大学、大阪芸術大学

【私立短期大学 10名合格】

函館短期大学、八戸学院大学短期大学部4名、聖和学園短期大学、仙台青葉短期大学3名、東北文教大学短期大学部

【専修学校・各種学校 35名合格】

青森中央文化専門学校、アレック情報ビジネス学院、東北メディカル学院4名、八戸工科学院、八戸准看護学院、八戸保健医療専門学校、八戸理容美容専門学校、岩手医科大学医療専門学校、盛岡医療福祉専門学校3名、国際マルチビジネス専門学校、仙台スイーツ&カフェ専門学校、仙台ビューティーアート専門学校2名、東北動物看護学院、仙台医健・スポーツ&こども専門学校、東北電子専門学校、大宮医療秘書専門学校、長正学園、東京デザイナー学院、東京モード学園、東放学園専門学校、文化服装学院2名、代々木アニメーション学院2名、横浜リゾート&スポーツ専門学校、静岡デザイン専門学校、西鉄国際ビジネスカレッジ、中日本航空専門学校、日本デザイナー学院

ひしコレ ～八戸ひしざしコレクション～

12月26日、八戸まちなか広場「マチニワ」にて、情報ビジネスコース2年生による「ひしコレ」発表会が行われた（「八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金」活用事業）。「伝統の再考」をコンセプトに、南部地方に伝わる服飾文化の菱刺しを現代の若者のファッションに融合させ、オリジナル衣装の製作にあたった。当日はそのファッションショーの様子を解説と共に大型スクリーンに上映した。企画から演出、製作までの全てを作りあげた生徒たちは、この企画から多くを学んだことであろう。



公務員職場体験

12月23日、情報ビジネスコースの1年生が、八戸警察署と八戸消防署において、職場体験学習を行った。職業意識の早期育成をはかるとともに、生徒の社会的な視野を広げることを目的として実施されたものである。消防署見学では、実際に消火活動で使われている「防火衣」を着用するなど、生徒は充実した表情を浮かべていた。



就職もがんばっています



公務員試験複数合格

写真左から、宗石 健杜君（カレッジコース/白銀南中）、担任の田中教諭、川袋 達己さん（カレッジコース/湊中）

【就職】 青森県警、神奈川県警2名、自衛隊一般曹候補生3名、自衛官候補生4名、トータツ興運㈱、㈲ヒロシマ、㈲なむらストア、タリーズコーヒージャパン㈱、㈲マエダ、㈲石上建設、㈲ユニバース、プライフーズ㈱2名、マルヨ水産㈱、八戸東洋㈱、㈲トヨタレンタリース青森、㈲なの花東北、㈲浅野屋、アートコーポレーション㈱、㈲金正堂本店八戸店、ネットヨタみちのく㈱、㈲サンデー、八戸東洋㈱、ワタキューセイモア㈲東北支店、㈲サンデリカ野田営業所、焼きたて食パン専門店一本堂

白神山地ツアー

10月27日、環境教育の一環として、本校希望生徒17名が中津軽郡西目屋村での学外学習を行った。生徒たちは白神山地を訪れ、ブナを中心とした植生観察をはじめ、隣接している津軽ダムの見学、ニシメヤダムレイクツアーに参加して水陸両用バスの乗船見学を行った。参加した賣井坂里咲さん（カレッジコース1年/是川中）は、「白神山地を訪問して、青森県の自然の豊かさや観光資源としての重要性を学んだ。ダムをつくるために集落から立ち退いた人がいたと知り、自然と人間の共存を考えるいい機会となった」と感想を述べた。

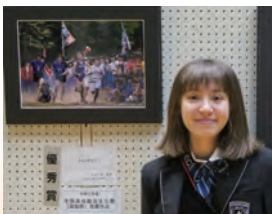


青森県高校総合文化祭

美術部門 10月25日～27日に、弘前市文化会館において青森県高校総合文化祭美術工芸部門が開催された。本校からは美術コース2年の清藤百花さん（むつ中）が最優秀賞、原杏美さん（田子中）が優秀賞を受賞し、共に描写力の高さが評価された。本校の最優秀賞受賞は4年連続で10回目となる。この2名は、青森県から7人が選ばれる全国大会の出品者に決定している。



写真部門



10月25日～27日、青森県高校総合文化祭写真部門が開催された。2年のスターク栄美（美術コース/七百中）の作品「あとは任せた！」が優秀賞を受賞し、出品総数355点の中から来年度の全国高総文祭高知大会に推薦される5作品の1点に選ばれた。審査員から「作り込んだものではない、ドラマ性を感じられる」との評を得た。また、本校から出品した他の作品からも5点が秀作に選出され、過去にない大量入選となった。

囲碁部門 10月19日・20日、弘前市立観光館において、青森県高等学校総合文化祭囲碁部門大会が行われ、本校から男子2名、女子2名が参加した。女子の部で木村美月さん（カレッジコース1年/湊中）が第2位、尾崎里々衣さん（美術コース1年/湊中）が第3位に入賞した。二人は第33回東北地区高校囲碁選手権大会県女子団体の出場権を獲得し、11月8日・9日に八戸市で開催された大会では堂々とした戦いを繰り広げた。



第50回 工大一祭



11月2日・3日、第50回工大一祭が開催された。今年度は50回目の開催という節目を迎え、生徒、保護者、教職員が一致団結して準備を進めてきた。各科・各学年の工夫を凝らした展示や、熱のこもったステージ発表は、来場者の目をくぎ付けにする程見応えのあるものであり、令和最初の年にふさわしいものとなった。

今回初めての試みとして地元企業とタイアップし、各企

業の商品を販売する試みを行った。生徒達ははじめ、接客や販売をしっかりとやり切れるかどうか不安があったようだが、企業の方のアドバイス等もあり、予想以上に売り上げることができた。生徒達がこの成功体験を今後の高校生活に生かしてくれることを期待したい。

昨年を上回る約1,700名の来場者を迎え、工大一祭は成功裏に終了した。

2学年

修学旅行

12月2日から4泊5日の日程で、奈良、京都、大阪をめぐる2学年の修学旅行が行われた。1日目は京都の名所であり世界遺産として登録されている清水寺を見学、2日目には京都市内班別自主研修を実施し、古都、京都の世界遺産や文化遺産を見学、日本文化の良さを学ぶことができた。すべての班が無事に研修を終え、京都を満喫し充実した2日間となった。3日目は奈良の大仏殿、奈良公園、薬師寺を巡り、見聞を広めることができた。薬師寺での講話は、楽しい中に人としての生き方を考えさせられる貴重な時間になった。午後からは大阪、なんばグランド花月へ場所を移し、本場のお笑いを楽しみ、4日目は西日本最大のテーマパークUSJを満喫した。5日目は世界最大級の水族館である海遊館を見学し、帰路へと着いた。

238人という大人数の修学旅行隊であったが、事故や病気もなく、無事に帰ってくることができ、集団生活、団体行動、友人とのふれあいを通じて、規律、責任感、社会性を学んだ修学旅行であった。

添乗をして下さった日本旅行、生徒を送り出していただきました保護者の皆様には感謝申し上げます。



1学年

宿泊研修

12月4日～6日まで2泊3日の日程で、1学年企業見学会と宿泊研修会が行われた。

八戸市内での企業見学会の後、岩手山青少年交流の家に移動し、各講座や集団行動訓練など、9つのプログラムを実施した。生徒は、協調性や時間厳守の大切さ、社会規範の重要性などを学んだ。



3学年

研修会

3学年では、12月4日～6日にかけて、卒業後の社会生活に役立

てることを目的とし、社会人として必要となる知識や、身だしなみを習得するための研修会を開催した。

1日目は、日本年金機構による「年金セミナー」、八戸モータースクールによる「自動車免許所持講座」、洋服の青山による「身だしなみ講座」を行った。2日目は、青森県司法書士会による「消費者講座」、フットサルアリーナ八戸にて「フットサル大会」、3日目は、地元に関する見聞を広めるクラス別研修を実施、最後に市内3カ所のホテルに分かれてフルコースの「テーブルマナー教室」を行った。

生徒たちは、研修を受け、有用な知識を得るとともに、3学年最後の行事を楽しみながらクラスの親睦を深めていた。



青森県高等学校総合文化祭

第40回青森県高等学校総合文化祭が、10月25日～27日に中南・西北地区を中心とした会場で開催された。本校からは、写真部・美術部・将棋部・放送部・JRC部・吹奏楽部が参加、各部門会場で日頃の活動の成果を発表した。

その中で、中村叶愛さん（1年普通科／江陽中）が、将棋部門女子個人戦の8名によるリーグ戦で準優勝を果たし、東北大会と全国大会の出場権を獲得した。東北大会は12月20日、21日に岩手県盛岡市で、全国大会は令和2年2月6日～8日に福島県福島市にて行われる。

また、将棋部門男子個人戦B組（79名17校参加）では、谷崎慎也君（1年普通科／八戸二中）が第5位に入賞した。



令和元年度 進路先(就職)一覧

令和2年
1月22日現在

<県内企業(管内)>

(株)アトマーク
(株)石上建設
(株)泉山石材
エプソンアトミックス(株)
小幡建設工業(株)
(株)オートガード八戸
(株)河原木電業 2名
北日本造船(株)
旭光通信システム(株)八戸事業所
有協栄企画
(株)京谷電気
(福)徳望会特別養護老人ホーム見心園
高周波铸造(株) 3名
(株)金剛
合同酒精(株)酵素医薬品工場
三共理化学工業(株)八戸工場
(株)サンコンピュータ
有 三貞
(株)下館組 2名
(株)自動車ガラス販売八戸
(株)昭光製作所
(株)ジョン 3名
(株)眞照堂
信和工業(株)
新和工業(株)
(株)清掃テクノサービス
(株)大成塗装
大太平洋金属(株)
(株)田名部組
テクノグラフ・シー・アンド・ヴィー(株)
東京鉄鋼(株)八戸工場
東北森紙業(株)八戸事業所
東北容器工業(株)
有 名川製作所
日成電設(株)
(株)根城グリーン建設
八戸港湾運送(株)
八戸製錬(株)八戸製錬所
八戸中央青果(株)
(株)八戸プラザホテル

八戸臨海鉄道(株)

浜浦工業(有)
プライフーズ(株) 2名
北辰工業(株)
マルヨ水産(株)
(株)ヤマシ八戸支店ナカイン
(株)山匠電気工業
(株)ユニバス
(株)よこまち
<県内企業(管外)>
青森プライウッド(株)
(有)アンジェリック
(株)大泉製作所 2名
(株)ケンジ
スターゼンミートプロセッサー(株)青森工場
住友化学(株)三沢工場
(株)ヨタレントリース青森
南部建設(株)
マルゼン工業(株)東北工場
三沢エンジニアリング(株) 2名

<県外企業>

(株)インテック
(株)エスラインギフ
(株)ENEOSウイング
エリーパワー(株)
(株)カクヤス
風張工務店
(株)基行
(株)研空社
恒栄電設(株)
高栄警備保障(株) 2名
(一財)航空保安事業センター
(株)サカイ引越センター北日本本部
(株)サッポロライオン
(株)俊栄工業東京支店
住協建設(株)
シモハナ物流(株)
白石食品工業(株)
JR盛岡鉄道サービス(株)
(株)JFEウイング
(株)スガテック東北支店

西濃運輸(株)京浜ターミナル支店

(株)全日警
第一ダイヤモンド工事(株) 2名
大綱建設(株)
大幸建設(株)
太平電気(株)
太陽誘電モバイルテクノロジー(株)所沢工場
津軽海峡フェリー(株)
東京鐵鋼(株)
東芝メモリ岩手(株)
(株)トパンコミュニケーションプロダクツ
トビー工業(株)綾瀬製造所
トビー工業(株)神奈川製造所
トヨタ自動車(株)
日産自動車(株) 2名
日曹金属化学(株)
日鉄テックスエンジニア(株)君津支店
日東グラステックス(株)
株日本アーク
(株)日本海
日本製鉄(株)君津製鉄所
日本冶金工業(株)川崎製造所
濱田重工(株)君津支店
東日本旅客鉄道(株) 2名
(株)日立ビルシステムエンジニアリング
(株)フジタエアークロートサービス
古河電気工業(株)羽田事業場
北海道旅客鉄道(株)
向井建設(株)
モービルスペアパーツ
(株)ユアテック
ユニオン建設(株)
吉川工業(株)君津支店
リスバック(株)関東事業所
ワタキューセイモア(株)東北支店

<公務員>

陸上自衛隊 10名
海上自衛隊 4名
航空自衛隊 2名

心の教室



10月21日、思春期の生徒らが抱える学校、クラス、部活、友人関係や進路等での悩みに焦点を当て、本校第一体育館で全校生徒を対象に「心の教室」を開催した。講師にメンタルプロコーチまたスクールコーチとして活躍されている津村 証広氏を招き「夢をかなえる123コーチング」というテーマで、講演していた。

津村氏は、講演とワークショップを通してより良い人間関係の築き方、挑戦することの大切さや未来の切り開きかたなどを生徒たちに伝えた。生徒たちは表情も生き生きと、実践的なワークショップに意欲的に取り組んでいた。

この講演から学び、身につけたことを活かし、より充実した高校生活を送ってもらいたい。

第48回 定期演奏会

11月15日、第48回定期演奏会が八戸市公民館ホールで開催された。八戸地区をはじめ中央で活躍しているOB・OG、地域の吹奏楽団体からの演奏者も加え、熱の入った演奏となった。第1部、第2部では、クラシックの名曲4曲を演奏し、場内の聴衆を感動させた。第3部ポップス・オン・ステージでは小中学生、一般来場者の方の飛び入り参加を交えて、おなじみの曲を演奏し、演奏者、聴衆一体となって盛り上がり、和やかな雰囲気の中にフィナーレを迎えた。



クリーン白銀

11月5日「広げよう！奉仕の心 たくましい実践」のスローガンのもと、本校伝統行事のクリーン白銀が実施された。クリーン白銀は学校周辺の美化活動を通じて地域社会への貢献と生徒の健全育成を目的に昭和54年から始まった。平成元年からは、年2回実施され、今年で68回目を迎える。生徒たちは寒さにもかかわらず、日頃お世話になっている地域の方へ感謝の気持ちをこめ、協力してゴミ集めをしていた。



クリスマス はっぴようかい



満3歳組 遊戯「ライオンほえる」



「おおきなこえでほえるよ、がお〜!!!」

年長組 音楽劇
「さるかにばなし」



「ちまぎちよきカニさんが
やってきたよ!」

年中組 遊戯
「きょうりゅうサンバ」



「げんきいっぱいな
きょうりゅうたちだよ!!!」

年少組 遊戯
「くだものカーニバル」



「わたしたち、ジュース=なくだものよ♡」



12月5日(木)、6日(金)の二日に分けて行われたクリスマス会は、寒さは厳しいものの晴天に恵まれた。この日を楽しみにしていた子どもたちだが、いざ出番となるとドキドキだったようだ。それでも幕が開くと練習の時よりも張り切って演じていた。満3歳児や年少児の中にはたくさんのお客様に呆然として動けなくなる子もいたが、演目に合わせた衣装に身を包み、頑張る子どもたちにとたくさんの拍手が送られていた。幕が閉まると安堵の表情で友達と顔を見合う姿が見られた。終りは、サンタさんから一人ずつプレゼントをもらい、「なんだろう」「たのしみ」と言いながら笑顔で帰っていった。



「サンタさん、
プレゼントありがとう♡」

二世代に渡って

昔、私の息子・娘達がお世話になり、現在は年長組に孫が通っています。卒園した孫を含めると6人もお世話になりました。年長組の孫は満3歳児から入園し、当時は泣きながらバスに乗って行きました。幼稚園から帰ってきて園のことを聞くと泣いてしまうので、まだ幼稚園に入れるのは、早かったのではないかと不安になることもありましたが、そんな孫も時が経つにつれ泣かずに登園するようになり、バスの迎えに行くと園での出来事やクリスマスの劇の練習

が楽しいと、笑顔で話してくれるようになりました。家で隠れて練習をしている様子を見ると、入園した頃に比べてとても頼もしく思います。

さくら幼稚園に通った息子・娘・孫達が、優しく素直に育ってくれたのも、成長を見守り指導して下さった先生方のおかげです。さくら幼稚園に二世代に渡って、入園することができ感謝しております。ありがとうございました。



(ばら組 石橋叶望ちゃんのおばあちゃん)
関下 真梨子さん

ようちえんってこんなところ

～年長組 ちびっ子防災広場～



「ほうすいくんれん はじめ!!」

～年長組 飛行機見学会～



「じえいたいのひこうきをみたよ。かっこいいな」

～焼き芋会～



「ん〜♡やきいもおいしっ!!」

とらんぽりん

～ある日の保育日誌～

満3歳いちご組

11月27日(水)

初めて空き箱や空き容器を使って好きに作らせてみた。不安のあるはさみは使わず、セロテープと花ちり紙だけを使った。テープの貼り方を見せながら一緒に作ると、その後は、一人でペットボトルとトイレトーパーの芯を上手につなげるなど、それぞれ思い思いのものを作っていた。そんな中、作った船が壊れてしまっているA君を見たB君が、テープを切ってA君のところへ持って行ってあげた。さり気ない優しさが見られた瞬間だった。



「でんしゃがつながったよ。ぽっぽー…」

年少組 10月30日(水)

焼き芋会をする大学のキャンプ場に向かうバスに乗ると、それまではしゃいでいたのになぜか静かになった。顔をのぞくと、ニコッと笑うものの緊張した様子だった。到着し、灰の中に芋を投げ入れると「あったかいね」「いも、だいじょうぶかな」と話していた。「焼き芋できましたよ」の声に一齐が集まってきた。「かわをむかないと、たべられない」という子もいたが「食べられるよ」と言うと、「ようちえんのおいもはぜんぶおいしい」と喜んで食べていた。

年中組 11月11日(月)

絵本の貸し出しの時、「〇〇くん、そのえほん、おもしろかった?」「〇〇ちゃん、そのほん、つぎにかしてちょうだい」と、友達が借りた本に興味を示している子が増えてきた。また、クラスで読み聞かせをした絵本や誕生会で園長先生から聞いた話の本を「どこにあるのかな?」「あれをかりたい」と声をかけてくる子も多くなった。平仮名を読めるようになった子も少しずつ増え、友達に読んであげる姿も見られるようになってきた。

年長組 11月26日(火)

園庭で遊んでいた子どもたちが、しっぽ取りゲームを始めた。それぞれに自分の帽子をズボンに挟み、しっぽの代わりにして走っていた。子ども同士でルールを確認し合い、遊ぶ姿に年長らしさを感じた。ただ、自分の思い通りにゲームを進めようと「〇〇だって、いったじゃん!!」「それちがう!!」といったきつい言葉遣いになっている時があるのが気になった。相手の気持ちも考えながら話せるように気づかせていきたい。



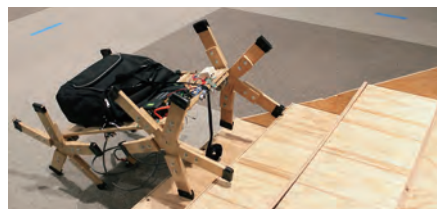
～お店屋さんごっこ～
「いらっしやいませ!ハロウィンスティックはいかが?」

TEPIAロボットグランプリ「努力賞」受賞

11月3日、(財)高度技術社会推進協会主催の「TEPIAロボットグランプリ2019」が東京都渋谷区のTEPIA先端技術館で開催され、一年生男子が参加した。(写真左から佐藤琥太郎君(吹上小)、沼田大地君(五戸小)、米田淳心君(柏崎小)、石橋澄空君(新井田小))

この大会は、オリジナルロボットの開発に挑戦する中高生を応援するもので、実際にロボット製作をしてその出来栄を競うものである。全国から31件の応募中、本校を含む10件が採択された。本校チーム「Bag Carrier」は、持ち主を追尾しつつ、階段昇降を可能にするロボットの開発を目指して、製作に取り組んだ。

大会当日のデモンストレーションでは、機械的なトラブルからうまくいかなかったこともあったが、市販のキットを使わずに一から製作した努力が認められ、今回から新設された「努力賞」を受賞した。多くの方々のご厚意に支えられての大会への参加は、生徒たちにとって良い体験となり、非常に意義深い学びの機会となった。



久慈地区ジオパーク巡見

10月18日、久慈地区ジオパーク巡見が実施され、久慈琥珀博物館と久慈溪流を訪れた。博物館では、琥珀ができるまでを紹介した展示物を見学し、施設内にある採掘現場で琥珀の採掘体験を行った。小さな琥珀を見つけた生徒もいて、大変うれしそうであった。

午後からは、三陸ジオパーク認定ガイドの田高正博さんから、久慈溪流の鏡岩について教えていただいた。鏡岩は、約2億年以上前の南洋にあったサンゴ礁に由来し、水平に堆積した地層が垂直に立ち上がっていることなど説明を聞いた生徒は、大昔にできた岩が現在も存在していることに大変驚いていた。また、石灰岩地にしか生息しないとされる絶滅危惧種のイワギク(岩菊)を観察することができ、生態系について考える良い機会となった。



附属中スポーツ大会

10月21日、久しぶりの晴天に恵まれた秋の暖かな日差しのもと、小久保パークゴルフ場にて、附属中スポーツ大会が実施された。

午前中は、指導員の方々からクラブの持ち方やボールの打ち方などの初歩的なことを丁寧に教えていただいた。ほとんどの生徒はパークゴルフをするのが初めてであったが、すぐにコツをつかみ、球を芯で捉えることができるようになった。午後からは、4人1チームに分かれて、打数を競う大会が行われた。参加者の中には、ホールインワンを決めた生徒もいて、とても盛り上がった大会となった。



～ご寄付のお願い～

○「八戸工業大学ブランディング事業活動支援金」

2017年度、本学は文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、地域の「安全・安心・快適な暮らしの創造」と「農林水産業・工業・観光業など産業・雇用の活性化」に貢献することを目的として、インフラ・地域づくりに関連する人材の育成と研究成果の社会実装も含めた総合的インフラ研究拠点の構築を目指し教育と研究に取り組んでおります。

この目的を達成し多くの成果を生み出すためには、地域の皆様からのご意見やご協力が必要です。主旨をご理解いただきご支援下さいますようお願いいたします。詳しくは、下記HPをご覧ください。



<https://www.hi-tech.ac.jp/branding/donation.html>

理事会・評議員会

◇10月30日 理事会

- ・学校法人八戸工業大学資産運用に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学早期退職者優遇制度に関する規程」制定に関する件
- ・学校法人八戸工業大学「入試手当支給要領」改正に関する件

◇11月29日 理事会・評議員会

- ・積立金の処分に関する件(理事会・評議員会)
- ・令和元年度補正予算に関する件(理事会・評議員会)
- ・私立学校法改正に伴う寄附行為変更(案)に関する件(評議員会)

◇12月20日 理事会

- ・私立学校法改正に伴う寄附行為変更に関する件
- ・私立学校法改正に伴う役員報酬等にかかる規程の制定及び改廃に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学常勤理事懇談会要綱」廃止に関する件
- ・八戸工業大学長選任に関する件

表紙 八戸工業大学第二高等学校
第34回美術コース作品展